

今 新田川では  
**カゲロウ(蜉蝣)**



カゲロウの乱舞  
これらの写真はHP  
からいただきました



よ〜く近づいて  
見ると



この外灯の  
下です



9月17日の早朝の事です。  
ここは北新田の門前橋の南側の外灯の下です。  
道路にまるで雪のように大量のカゲロウが積も  
って、何匹ものスズメバチがそれを食べている  
ように見えました。

カゲロウの幼虫は基本的に水中に生息し  
ていて、蛹(さなぎ)にはならず、直  
接成虫へ変化し、完全に成虫になったあと  
は地上を飛び回り数時間程度で寿命を終える  
ことがあり、街灯の周辺などで、命を落と  
したカゲロウが大量に積み重なるというこ  
とだそうです。

それが原因で車のスリップなどを引き起こし、事故に  
つながる可能性が出てきてしまう、という、思わぬと  
ころにカゲロウによる害が潜んでいるようです。

何年か前にもここで見ましたが、橋の北側では見な  
いです。

時々、大きな川のそばで、カゲロウの乱舞がテレビの  
ニュースで報じられますね。

**天井貼替の  
before after**

和室の場合



雨漏りのシミが  
広がっています



天井板をはがして小屋裏が出てきました  
古い釘を抜いています



天井板を  
貼りつけ  
た天井裏



天井板を貼りつけています

廊下の場合



雨漏りのシミが  
広がっています



天井板の貼り  
つけ途中



完成です

点検口です



完成です

◆◆◆◆◆ こんなはがきを作ってみました ◆◆◆◆◆



お客様との接点を大切にしたい！！  
その思いをこのはがきでお届けします。  
「新田川通信」とともに、お手元に届きましたら  
「ああ、届いたなあ」とお納めください。

《 大工さん紹介コーナー 》



恥ずかしがり屋のKさん

顔と名前を出すのは恥ずかしい！  
と言うので、後ろ姿の写真で  
失礼します(\*ノωノ)  
今年の6月から当社に来て  
もらっています('ω')ノ  
ベテランなので現場では恥ずかし  
がり屋の様子はありませんので  
ご安心ください(\*´艸`)  
←作業中のKさん



# 《大工さんのアイテム》 鑿(のみ)

↓細いのみと太いのみではこんなに差があります。  
(もっと太いのみもあります)



↑一般的に"のみ"と呼ばれる"叩き鑿"...ハンマーでカツラを叩いて木材を彫っていきます。(両手で突くように使う"突き鑿"という物もあります) 細いものから太いものまで、使い分けていきます。

電動工具がたくさん出ていて手に入りやすい現代...DIYではあまり出番がなかったりしますが木材を切削して細工する"木工用のみ"は大工さんの必須アイテムです!

## 暖房をかしこく使って節約しよう(・ω・)

今年は電気代が値上がりし、一般的な家庭で年間1000円ほど上昇しているそうです。また、灯油の高騰も続いており、冬の光熱費が心配になるところ…。そこで、暖房を上手に使うって省エネしましょう(・ω・)

- エアコンは弱運転よりも**自動運転**！(自動のほうが効率よく動いてくれます)
- なるべくON/OFFをせず、**換気時もエアコンは稼働したまま**！(暖めようとする時に電気を一番使うため)
- 冷える時は**電気カーペット**や**サーキュレーター**との併用も！(冷える床面を暖かく、空気を循環させます)
- 厚手のカーテン**などで窓から熱が逃げるのを防ぐ！(お部屋の熱の半分は窓から逃げます)
- こまめな**フィルター掃除**！(エアコンは2週間に1回、石油ストーブは1週間に1回が目安)



←ハロゲンなど電気ストーブは点けるとすぐ暖くなる反面、消費電力が高いのでスポットで。



↑石油ストーブはフィルター、空気取入口、吹出し口を掃除機などで吸う。

※ご自分でのエアコン掃除が難しい場合は、年に一度は業者へ依頼するのがオススメ。  
(有)佐藤建業でも行っていますので、ご依頼は(0244) 22-7619までお電話を(・ω・)☆



秋真っ盛りですね。そこで「**天高く馬肥ゆる秋**」を探ってみました。

空が澄みわたり、高く見える秋ごろ、馬たちも過ごしやすく食欲も増してたくましく育つ、といった秋の快適な気候が表現されています。

ところが、元となった中国の故事では、こわ〜いお話だったそうです。



それは、中国の王朝「前漢(ぜんかん)」と北方の遊牧国家「匈奴(きょうど)」との争いが激化していたころ。

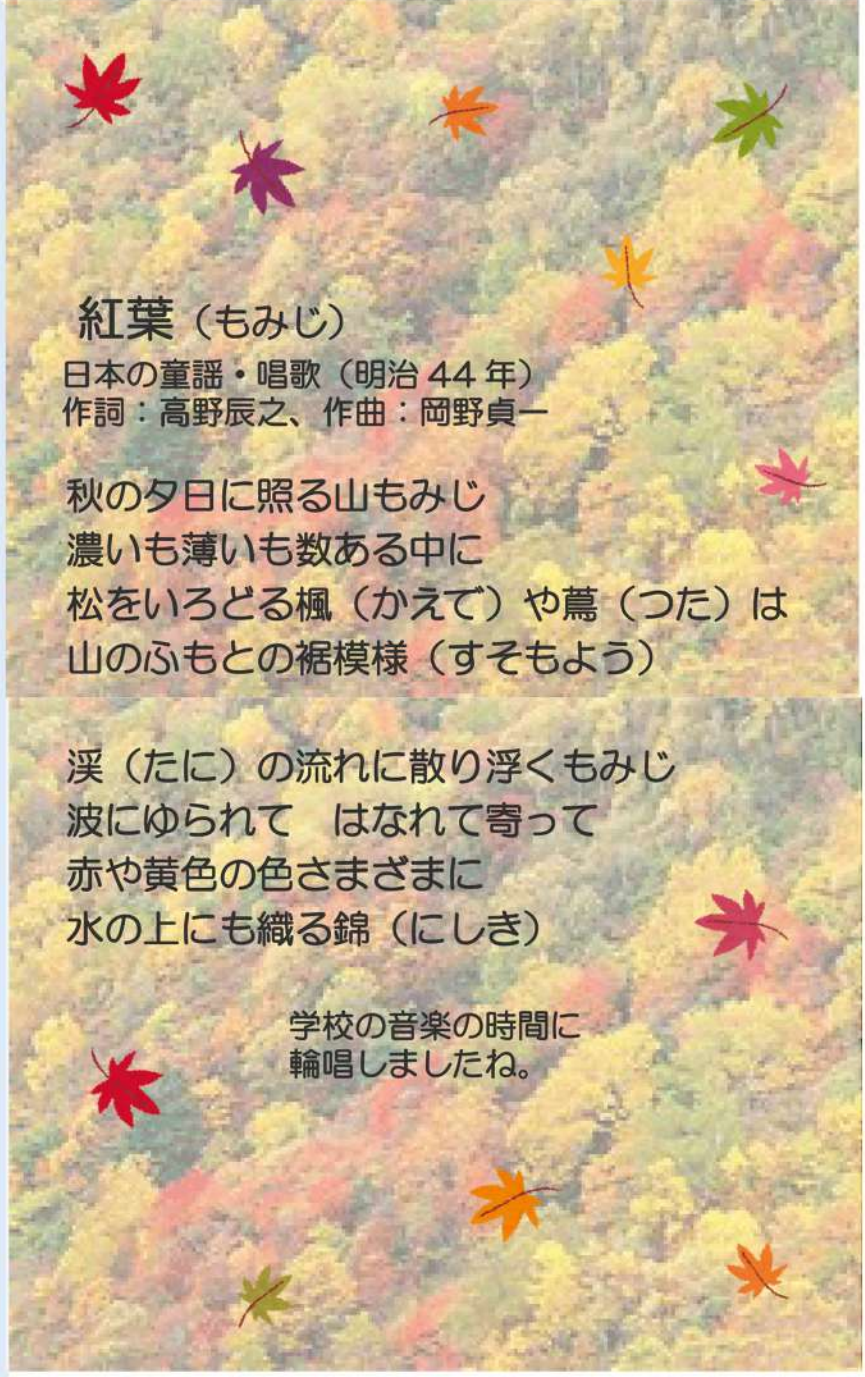
万里の長城の一部は建設されていたが、匈奴の侵入を防ぐには十分ではなかった。匈奴は秋になると収穫物を奪いに強い騎馬で侵入してくる。

将軍は、「雲浄くして妖星落ち **秋高くして塞馬肥ゆ**」(くもきよくして ようせいおち あきたかくしてさいばこゆ)と、言って警戒を促した。

「妖星」とは不吉な出来事の前兆(流れ星など)。「塞馬」とは北方の馬、ここでは匈奴の馬の事。意味は、秋になると匈奴の馬が大きく強く育ち攻め込んでくるから警戒せよといった内容になる。

匈奴は、その後大飢饉に見舞われて弱体化し、滅亡した。匈奴滅亡後、「**天高く馬肥ゆる秋**」は、秋の到来や快適な気候を表現する現代のような意味合いで使われるようになったということです。

「天高く 孝子肥ゆる秋」ではなかったんですね。お後がよろしいようで!!



### 紅葉(もみじ)

日本の童謡・唱歌(明治44年)  
作詞:高野辰之、作曲:岡野貞一

秋の夕日に照る山もみじ  
濃いも薄いも数ある中に  
松をいろどる楓(かえて)や蔦(つた)は  
山のふもとの裾模様(すそもよう)

溪(たに)の流れに散り浮くもみじ  
波にゆられて はなれて寄って  
赤や黄色の色さまざまに  
水の上にも織る錦(にしき)

学校の音楽の時間に輪唱しましたね。